

公共事業の早期展開について



柏村忠志 議員

質問 大不況の下、新たな雇用創出となる公共事業の前進しは大変重要である。幼稚園・小中学校の耐震化補強・大規模改修工事、消防本部庁舎の耐震改築工事、道路新設改良工事、小中学校への太陽光発電設備の設置など、これらの早期展開について伺う。

副市長 新年度には、小学校八校の体育館の耐震化を図るほか、順次補強工事を進めていく。消防本部庁舎については、茨城県消防広域化推進計画の動向を踏まえ、改築又は新築を検討したい。また、道路新設改良工事については、国の臨時交付金の活用により、新年度予定の一部の市道整備、高架道の高欄補修等、二十年一度事業として前倒しで実施する。太陽光発電設備については、地球温暖化防止行動計画の中で検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
一 非正規労働者の契約解除・雇止めへの対策

二 下請会社への支援策
四 人材育成への支援体制



土浦市消防本部

定額給付金について



田中淳介 議員

質問 定額給付金について、受付開始の時期、ホームレスへの対応、DV被害者(配偶者などから家庭内暴力を受けた者)の対応を伺う。さらに、定額給付金に合わせた本市独自の地域経済振興策について伺う。

総務部長 受付開始は本年四月一日から十月一日までの六ヶ月間となっている。ホームレスについては、以前から土浦市での居住が確認され、二月一日時点で他の市町村に登録が無い場合、遡って住民登録することができ。DV被害者の方については、居住する市町村に対して支援措置の実施を申し出ることにより、加害者である配偶者等による、住民基本台帳の閲覧等が制限されることから、実際に居住する住所において住民登録を行い、受給していただくものと考えている。

市長 地域経済の振興に寄与する方策の一つとして、プレミアム付商品券事業が非常に有効であると強く認識している。新年度においては商品券の発行総額を倍増し、発売時期についても定額給付金の支給時期に合わせる準備を進め、地域経済発展の潤滑剤となるよう土浦商工会議所、土浦市新治商工会、商業者等と連携を密にして取り組んでまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
一 緊急地域雇用
三 神立菅谷都市下水道

健康づくりと地域商店街の活性化について



松本茂男 議員

質問 NPO法人が県の補助金を受けて実施した、ユニークな事業を紹介したい。その内容は、応募者に万歩計を貸し出し、一ヶ月の合計歩数が一日平均一万歩であれば千円の商品券がもらえ、市内の協力商店街で買い物が出るシステムになっている。ウォーキングによる健康づくりと地域商店街の活性化を図るこの事業を、市内各地域で実施されてはいいかがか。見解を伺う。

市長 健康とは本当に何よりも勝るものであり、議員ご紹介の事業については、環境問題を含め、経済的、医療費の問題等々、まちの活性化も含め、一石何鳥にもなると思われる。市民の皆さまが健康になれば医療費も減少し、そのお金を違う方面へ向けることも出来るであろうことから、今後協力店を募る方法など、

ど、事業の内容について調査をさせていただきたい。(掲載以外の質問事項)
一 合併特例債について

市民との協働によるまちづくりについて



井坂正典 議員

質問 平成二十一年度の市政運営方針の中で、市政の柱でもある市民との協働によるまちづくりについて、全ての市民との積極的な交流を図る観点から、全市的な中学校地区対抗大運動会などを計画してはいいかがか。
教養長 近年の少子・高齢化等の影響で、選手が集まりにくいなどの理由により、市民体育祭の今後の在り方が問われはじめたことから、昨年の

